



備えよう！！ 簡易トイレ 携帯トイレ

問合せ先／上下水道課 (979-8118)

災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄する家庭は増えてきましたが、「簡易トイレ・携帯トイレ」の備蓄も忘れてはいけません。

大きな災害が発生すると停電や断水、下水道施設の破損などにより、水洗トイレが使用できなくなる可能性があります。

トイレを気持ちよく使うことができなないと、トイレを我慢したり、行く回数を減らそうとして飲食を控えようとする心理がはたらき、脱水症状や体力・免疫力の低下につながります。特に災害時は、トイレを我慢しない環境づくりが大切です。

あなたと家族を守るため、「簡易トイレ・携帯トイレ」の備蓄も忘れずにおきましょう。



※トイレの使用を含めた生活排水について制限をかけるときは、町ホームページやかなみ安心情報メールなどで速やかに広報します。

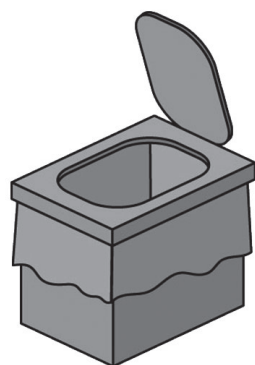
●簡易トイレと

携帯トイレの違い

簡易トイレと携帯トイレの違いは、便座の有無です。用途に合わせて選択しましょう。

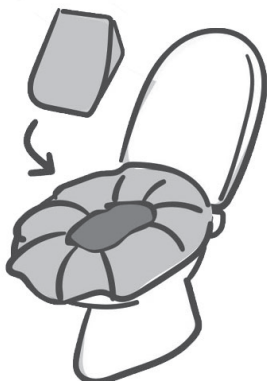
簡易トイレ

ダンボールなどの素材でできており、室内に設置できる持ち運びが可能な便座のある小型トイレ



携帯トイレ

便座がなく吸水シートや凝固剤で水分を安定処理させる便袋タイプのも



●「流す水が出ない」



「流す水が出ない」「トイレの水が流せない」など、上下水道管の破損や汚水処理施設の処理能力を超える水量の流入などによる生活排水の制限があるときに使います。

トイレ空間の安全が確保できれば、トイレを流せない状況にあっても、家庭のトイレに携帯トイレを取り付ければ使用することができます。

また、令和元年東日本台風のときのように、豪雨による浸水により家庭内に汚水が逆流してしまう恐れがあるときなどトイレ空間の安全が確保できない場合は簡易トイレを設置し、その中に携帯トイレを取り付けて使います。

●携帯トイレはどれくらい

の数を揃えたらいいの？

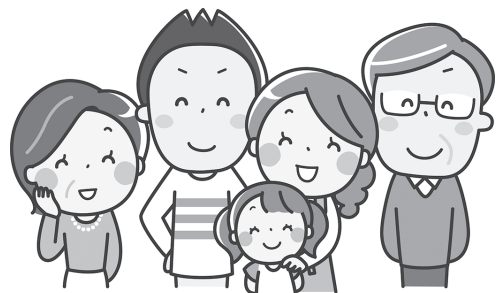
備蓄の目安

1人1日5回分を1週間

※個人差もあるので、この機会に、普段1日に何回トイレに行くか数えてみましょう。

簡易トイレや携帯トイレは、ホームセンターなどで購入できます。さまざまな製品がありますので、家族の人数や使用回数を想定して備えましょう。

5人家族の場合…



$$5 \text{ 回分} \times 7 \text{ 日間} \times 5 \text{ 人} = 175 \text{ 個}$$

●携帯トイレの使い方

① 便座をあげて、大きめのごみ袋(45ℓほど)をかぶせる



③ 商品のパッケージに従い処理をする ※主に2パターン

←吸水シートで水分を吸わせるタイプ



←粉末状の凝固剤で固めるタイプ



② 便座をおろし、上から便座をくるむように携帯トイレの袋を被せる



④ 使用後携帯トイレの袋のみ外して、空気を抜いてしっかりと口をしぼる



※飛散防止を徹底してください

⑤ 密閉できる容器に入れて、収集まで保管する



イラスト引用：『静岡県 そうだ!!「携帯トイレ」も備蓄しよう!』

●携帯トイレの捨て方

町指定のごみ袋に入れて「燃やせるごみの日」に出してください(携帯トイレは原則「燃やせるごみ」ですが、商品により異なる場合があるため、使用する商品パッケージを確認してください)。

※ごみ焼却場に直接持ち込むことも可能ですが、マスク着用などの感染症対策を必ずお願いします。

※感染症拡大防止のために、ごみ焼却場での受け入れを制限する場合があります。その場合は、町ホームページで確認ください。

●衛生面にも

気を付けましょう

「水が出ない」「水洗トイレが使えない」状況は、不衛生になります。ウイルスや細菌が手や指を介して口に入り、病気になる可能性が高まります。

また、手洗いは流水と石けんですっかり行いましょう。手洗い用の水が確保できない場合は、ウェットティッシュや手指消毒液などを活用し、清潔に保ちましょう。